

1. 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

・本校では GPA 制度を導入し、履修した授業科目ごとの成績を次のように G P を定め、単位修得した授業科目の単位数を掛けて合計した数値を全履修単位数で割って GPA を算出する。

それぞれの成績の G P を次のように定める。

S = 4.0 A = 3.0 B = 2.0 C = 1.0 D = 0

G P A の算出方法は次の通りとする。

$$\frac{\text{(単位修得した科目の単位数} \times \text{その科目の G P) の合計}}{\text{履修した単位数}}$$

※既修得として認定した科目の単位は含まない。

2. 越谷保育専門学校 3 つのポリシー

・ディプロマ・ポリシー

次の学生像を保育者育成の方針とする。

- (1) 愛情を持って共に学び、豊かな人間性を身につけている。
- (2) 責任感を持って何事にも向き合い、規律ある態度を身につけている。
- (3) 保育への理解を深め、課題を持って実践することができる。

・カリキュラム・ポリシー

本校の保育者養成の目的、ディプロマ・ポリシー、コアカリキュラムを踏まえた教育課程編成、教育内容や方法を次に示す。

- (1) 広く深い教養と人間性豊かな保育者養成の目的を達成するために、「教養科目」と専門分野を体系的に学ぶ「専門教育科目」とに分け、編成する。
- (2) 「育む・作る・動く・音を楽しむ」が基本となる現場で活かす「保育技術」を修得する。
- (3) 実践力を総合的に学ぶことができる実習では、実習体験を導入にし、学びと実践を融合させ、振り返りを通して自己の課題を見つけ、保育を構築する力を育成する。
- (4) 学習評価は、成績評価基準をシラバスに示す。また、G P A 等学びを振り返り客観的に自己点検することで、目標を持って継続的に取り組めるようにする。
- (5) 行事を通して共に学ぶ者同士が、切磋琢磨し協力して物事を解決する力と目標を持って

取り組む力を育む。

・アドミッション・ポリシー

本校の求める人物像

- (1) 子どもの心を理解する感性を磨き、自主的に学ぶ意欲を持つ人。
- (2) 子どもが好きで、素直な心や協調性がある人。
- (3) 子どもの発育・発達及び子育て支援に強い関心を持つ人。

課程修了の認定は規定する履修方法により単位を修得した者について教職員会議の議を経て校長が行う。

課程の修了に必要な単位

- ・教養科目については9単位以上とする。
- ・専門教育科目については73単位以上とする。